

Hands^{some}

May 2015 No.317

侍魂
ひとつ

SAMURAI DAMASHII

4th Anniversary

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 後藤太良
◆編集責任者/担当 副会長 白石博昭 ◆制作・編集 第40期広報委員会/委員長 福山輝展

平成26年度4月レクリエーション例会開催

4月19日(日) 於:《森の国》大山フィールドアスレチック 担当:侍委員会

4月レクリエーション例会は春雨が降頻る中、屋内イベントホールにて開会された。後藤会長の挨拶では、先ず会員家族の皆様へ中央会活動に対する理解と支援に謝辞を送ると共に、今例会ではしっかりおもてなしをする旨を伝えた。また「来年、再来年も奥様方から『次はいつか?』と言って貰えるように頑張った」と企画・準備に対する好評価も表された。

新入会員のバッジ授与式では、舛谷副会員と河上定弘会員の2名が、中央会の新たな仲間としてバッジを受領した。

また2月に入籍した北島会員に対し、会長より結婚祝い贈られた。北島会員からはご懐妊のめでたい報告もあり、会場からは驚きと祝福の歓声が上がった。

次に拝藤委員長より趣旨説明が行われ「握飯のように一つとなって、会員や子供同士が仲良くなれる場を作り上げるよう、侍委員会で頑張りたい。」と述べられた。

プログラム

1番は、「だるまさんがころんだ」に、「忍者さん」「お姫様」2種類の停止ポーズを織り込んだ『侍さんがころんだ』。迫り来る子供達に少し怯みながらも鬼役を務めた後藤会長扮するリアル《たいらざえもん》の背中には、沢山の「侍」ボールがぶら下げられており、上手くボールを獲った参加者は豪華な景品を手にした。

続いては雨天時用の体験プログラム『割り箸輪ゴム鉄砲作り』。これは昼食後に行われる「射的」で使用すると聞いた親子が一生懸命

に取り組む姿は、傍から見ていて実に微笑ましい。

続いて『委員会対抗火起し競争』へ。競技は板と棒だけで行う《きりもみ式》で争われた。これは筋肉だけではなく、委員会のチームワークが物を云う。一番に着火したのは〇〇委員会。優勝した〇〇委員会には、景品として高級鳥取和牛のブロック肉が贈られた。昼食時には早速サイコロステーキとなり、あっという間に平らげられたそうである。



火起しで大興奮した後はお待ちかねの『バーベキュー』である。各委員会が思い思いに用意した食材が焼き網に乗っていた。腹も膨らむ頃には『侍縁日』の準備が完了。

祭囃子が流れる中を、懐かしい玩具と駄菓子子の並ぶ屋台を巡れば、「形抜き」「輪投げ」「射的」「水ヨーヨー」で沢山の景品を獲得できるようだ。外のキャンパススペースに隠されたカプセルを持ち帰れば、豪華景品と交換できる『宝探し』は大盛況だった。

雨の上がった遊びの広場では、グリーンズライダーの丘からソリで滑り下りる子供達の

姿も見えた。

例会も終盤に差し掛かり、続くプログラムは恒例の『おかしなおつつあん』である。子供達が扉の前で待ち構えている隙を突き、裏口から飛び出していった5名の副会長の扮する『おかしなおつつあん』たち。全身にお菓子をいっぱい貼り付け、子供達に追いかけてられてポロポロになりながら、グリーンズライダーの丘へ駆けて行った。



その後、参加者全員で『記念撮影』。

閉会の挨拶では渡辺直前会長より参加者全員にお礼が述べられ、そして拝藤委員長率いる侍委員会メンバーの頑張りを労った。そして松田次年度会長を会員家族へ紹介したうえで、改めて今後の活動への理解と協力を乞い、締めの挨拶を結んだ。

今回のレクリエーション例会は、家族に楽しんで貰う事を大前提としているのは明確だが、会員の誰もが童心を取戻し、子供達と一緒に遊べる事のできる大変楽しい例会となった。

これを支えた新入会員の頑張りや後押しする古参会員の技が、燃える『侍魂』の一丸となって悪天候の気鬱を吹き飛ばし、素晴らしい一日を参加者168名全員に与えてくれた事に、心から感謝を送りたいと思う。

(記事:長谷川)

4月例会を終えて

侍委員会 委員長 拝藤 博幸



この度は忙しい中、家族例会に来て頂いた会員家族のみなさん、御参加頂き有難うございました。

当日は雨という事で、参加される方が少ないかとヒヤヒヤしていました。しかし今回の内容は雨でも晴れでも両方楽しめるものを用意するつもりでした。名前の通り、森の国フィールドアスレチックですので、大自然のなか、子供たちの走り回る姿が見たかったのは言うまでもありません。森の国のスタッフの方と前日まで準備に悩まされました。

当日は朝から雨風共に強く、室内でのアトラクションに変更しました。何回も何回も侍委員会のメンバーとは打ち合わせをしていたので、スムーズな進行が出来たと思います。当委員会としては初めての例会でしたが、新入会員に各アトラクションの担当リーダーになってもらい、しっかり役目を果たしてくれました。今回改めて、手作りの例会にして良かったと感じました。射的・宝探しと、私たちが子供の頃に楽しく遊んだ事は今の子供たちも同じだと実感しましたし、おかしなおつつあんも大盛況でした。協力して下さったすべての方に感謝いたします。

今度天候が良い日に森の国に行かれる際は、外で思いっきり大自然を満喫してみてください。

創立40周年記念事業基調講演に向けて

40周年記念事業 実行委員長 松田幸紀

皆さんこんにちは！40周年実行委員長の松田です！

いよいよ、6月19日(金)19時より～、米子市公会堂にて、「創立40周年事業 基調講演」としまして「九重親方(第58代横綱 国民栄誉賞 千代の富士関)」をお呼びし、演題「私はかく闘った！」と題し御講演頂きます！！

思い起こせば、創立40周年事業として、「記念誌発行」「記念DVDの作成」「記念ゴルフ大会」、「特別記念事業 市川海老蔵 米子公演」、「記念式典」と数々の事業を開催して参りました。それらの事業が盛大に執り行う事が出来たのも、会員一人一人が思いを込めて、真剣に活動して頂いたから！で御座います！！この場を借りて感謝申し上げます！！本当に有難うございました！！

ですが、残念な事に、「忘れ物」があります。皆さんも心のどこかに「忘れ物」があったのではないのでしょうか？

実際、私自身も気持ちが折れそうな時期も有りましたが、後藤会長の「忘れ物を取りに行くぞ！」の一言で、燃え尽きそうな心に再度火をつける事が出来ました！！

講演者はテーマ「前進」にピッタリな方ではないかと思っております！！

必ず良いお話が聞ける事と確信しておりますので、皆様にはご迷惑お掛けする事はあると思いますが、もう少しお付き合い頂きご協力お願いしたいと思います！！

最後になりますが、皆で再度一丸となり頑張りましょう！！宜しくお願いします！！

T.S.C

鳥取県西部中小企業青年中央会
**創立40周年記念事業
基調講演**

講師: 九重 貢 氏
九重部屋親方・第58代横綱千代の富士

演題: 私はかく闘った
～Spirit of 不接不屈～

講演者: 九重 貢 氏 (1955年10月1日生まれ)
鳥取県米子市出身。1975年、米子市立高等学校卒業。1976年、米子市立高等学校で新入員。翌年、鳥取県立高等学校に進学。同校で2年連続優勝。1978年、鳥取県立高等学校で3年連続優勝。1979年、鳥取県立高等学校で4年連続優勝。1980年、鳥取県立高等学校で5年連続優勝。1981年、鳥取県立高等学校で6年連続優勝。1982年、鳥取県立高等学校で7年連続優勝。1983年、鳥取県立高等学校で8年連続優勝。1984年、鳥取県立高等学校で9年連続優勝。1985年、鳥取県立高等学校で10年連続優勝。1986年、鳥取県立高等学校で11年連続優勝。1987年、鳥取県立高等学校で12年連続優勝。1988年、鳥取県立高等学校で13年連続優勝。1989年、鳥取県立高等学校で14年連続優勝。1990年、鳥取県立高等学校で15年連続優勝。1991年、鳥取県立高等学校で16年連続優勝。1992年、鳥取県立高等学校で17年連続優勝。1993年、鳥取県立高等学校で18年連続優勝。1994年、鳥取県立高等学校で19年連続優勝。1995年、鳥取県立高等学校で20年連続優勝。1996年、鳥取県立高等学校で21年連続優勝。1997年、鳥取県立高等学校で22年連続優勝。1998年、鳥取県立高等学校で23年連続優勝。1999年、鳥取県立高等学校で24年連続優勝。2000年、鳥取県立高等学校で25年連続優勝。2001年、鳥取県立高等学校で26年連続優勝。2002年、鳥取県立高等学校で27年連続優勝。2003年、鳥取県立高等学校で28年連続優勝。2004年、鳥取県立高等学校で29年連続優勝。2005年、鳥取県立高等学校で30年連続優勝。2006年、鳥取県立高等学校で31年連続優勝。2007年、鳥取県立高等学校で32年連続優勝。2008年、鳥取県立高等学校で33年連続優勝。2009年、鳥取県立高等学校で34年連続優勝。2010年、鳥取県立高等学校で35年連続優勝。2011年、鳥取県立高等学校で36年連続優勝。2012年、鳥取県立高等学校で37年連続優勝。2013年、鳥取県立高等学校で38年連続優勝。2014年、鳥取県立高等学校で39年連続優勝。2015年、鳥取県立高等学校で40年連続優勝。2016年、鳥取県立高等学校で41年連続優勝。2017年、鳥取県立高等学校で42年連続優勝。2018年、鳥取県立高等学校で43年連続優勝。2019年、鳥取県立高等学校で44年連続優勝。2020年、鳥取県立高等学校で45年連続優勝。2021年、鳥取県立高等学校で46年連続優勝。2022年、鳥取県立高等学校で47年連続優勝。2023年、鳥取県立高等学校で48年連続優勝。2024年、鳥取県立高等学校で49年連続優勝。2025年、鳥取県立高等学校で50年連続優勝。

平成27年
6月19日(金) 19:00開演

米子市公会堂
〒683-2211 米子市公会堂
TEL 090-9735-3700

前売券 1,000円
当日券 1,500円

チケット販売窓口
新日本海新聞社 米子支店
米子市公会堂・米子市文化ホール
鳥取県民会館チケットコーナー
Book Yard (CHAPTER1,2,3 各店舗)

講演に関するお問い合わせ
主催: 鳥取県西部中小企業青年中央会 TEL 090-9735-3700
鳥取県西部中小企業青年中央会 事務局
米子市立高等学校204号室 米子市立会館内
鳥取県西部中小企業青年中央会 米子支部内

(後援) 鳥取県、BSS山陰放送、新日本海新聞社

第35回全日本トライアスロン皆生大会 TSC実行委員会の開催



3月19日(木)こうりん坊角盤店にて後藤会長にもお越しいたごき、第1回TSC実行委員会が開催されました。

冒頭に後藤会長より「当会は継続事業としてトライアスロン大会に参加しています。当会会員減少のなか大会運営の関わり方を、今一度考えても良いと思います。また、大会では各部へ配属になりますが、各部連携を図り大会に取り組んで下さい」と述べられ、続いて盛政実行委員長から「当会がひとつになりオール中央会で大会に臨む」と心強い挨拶を頂きました。

そして濱田ボランティア部長・石原A S部長より各部のスケジュール、再調整等を図り親睦を深め第1回TSC実行委員会が閉会されました。

(記事:石原)

山陰酸素工業(株)表敬訪問！



平成27年4月6日、後藤会長、松田次年度会長が山陰酸素工業株式会社 並河勉社長を表敬訪問されました。

まずは当会創立40周年の記念事業(米子大歌舞伎、九重親方の記念講演)を説明。その後、地方創生の話の中、松田次年度会長の東京新店舗「beer&chicken大山」で大山Gビール、大山鶏など山陰の商品を東京で販売されるのは、大変素晴らしいことと賛辞をおくられました。後藤会長の会社名の由来、卸団地にあった当時のお話など、過去から現在まで幅広くお話をいただきました。

最後に並河社長より、中央会の活動で築き上げた人脈を活かすよう一層期待するとの激励が岩田監事に向けられ、和やかななか面談は終了となりました。面談を通じて、中央会の歴史や活動に関心を持たれ、さらなる発展を期待されていることを感じました。

会談終了後、サウナに入ったような汗の後藤会長の笑顔が印象的でした。

(記事:侍委員会 西田裕志)

卒会にあたって

岩田 剛会員(平成18年5月入会)

「チャンスと時間は貯金できないと思っています。どうぞよろしくをお願いします。」

第31期の5月例会。ホテルサンルート米子の壇上で当時の武海会長からバッジを付けて頂いて9年が経ちました。とても緊張したことを覚えています。やっぱり生意気な挨拶ですね。

その後、増井幸一年度で総務委員長。北口智明年度で総務担当副会長。森脇哲雄年度で専務理事。渡辺一徳年度で3度目の副会長。6年連続で役員もさせて頂きました。色々、無理難題を歴代会長から仰せつかり、ほぼ卒なくこなす能力が養われました。

「いやって言うな。返事は『喜んで!』だ。」って、パワハラ?と思うことも多々ありましたが、いつもそばに居て、いつも話をしてくれる人がいつしか、友人以上の存在になっている。家族よりも過ごす時間が多い人たち。27時に帰宅しても翌日は元気に皆、働いていました。

「中央会ってどんな所ですか?」そんな質問があるといつもこう答えます。「人がビックリするくらい成長する場です。」

これからも素敵な、運命的な出会いのある会であり続けて欲しいです。

9年間お世話になりました。好き勝手させてくれた家族に感謝です。



岩田
ご苦労!!

これは オススメ

おすすめした人 緒方恒人会員→おすすめされた人 戸田博之会員
幕末に生きる日本男児の「侍魂」たる、武士のプライドを描く。「武士の一分」とは、侍が命をかけて守らなければならない名誉や面目の意味ということです。「武士の一分」を賭けた果し合いを挑む感動映画。
(緒方)

『武士の一分』

“〇〇”マルマル委員会 戸田博之

私は、ほとんど映画を見ません。故に詳しくありません。監督…山田洋次。「男はつらいよ」や「釣りバカ日誌」が浮かびます(釣りバカは脚本でした)。見終わった後、余韻の残るような温かみのある作品な印象です。主演…木村拓哉「武士の一分」…聞いたことがあります。ヒットした映画なのでしょう。ですが、私は今回が初見です。

藩主の毒見役を務める侍、三村新之丞は、妻の加世と慎ましくも幸せに暮らしていたのですが、毒見の際失明してしまい歯車が狂い始めます…。

一分【いちぶん】一人前の存在として傷つけられてはならない、最小限の威厳。面子。

劇中、何度か出てくる「武士の一分」というセリフ。新之丞にとっての「一分」とは、妻の加世に対する嫉妬や怒りや申し訳なさ、自分への不甲斐なさ等の自身の面子や意地から、自身の事より加世を想う気持ちに変わっていったように感じます。

最後は温かみのある終わり方で、不覚にも泣けました。この辺が山田洋次監督なのでしょう。日々の中にある何気ない幸福感。一時の絶望。お互いをひたすらに想う夫婦愛。心にじんわり染み入る良い映画だと思います。

色々書きましたが、率直な感想は「信頼しあえる夫婦っていいなー」です。

イサオ&トッシー
が巡る

ぶらり男二人旅

新企画 鳥取県西部の名所を広報委員会のプリンスイサオ&トッシーが巡る“ぶらり男二人旅”の第2回目です。



ようやく長〜い、長い冬を抜けやっと第2回目のぶらりふたり旅は、皆生温泉めぐりとなりました。

皆生温泉と中央会と言えば、まず思い浮かぶのはトライアスロンということで日本トライアスロン発祥記念碑を訪れました。第1回参加者53名の名前とともにモニュメントや説明板が建っています。この場所は皆さん毎年のように来られてると思います。今年も選手やボラン

ティアで皆様参加をよろしくお祈りしますm(____)m

続いて皆生温泉神社、足湯とめぐります。皆生温泉神社はその名の通り長寿のご利益があり、毎年年越イベントも行われています。皆生温泉の足湯は2ヶ所ありますが今回は皆生温泉開湯110周年記念事業でオープンした「潮風の足湯」を訪れました。

地元の方も頻繁に来られているようで、この日は天気も良くすでに数人の方が浸かっておられました。ここで疲れた旅人が癒されている写真を1枚!海を眺めることもでき、とても気持ちいいですよ〜(^.^)

皆生温泉は景観も良く遊歩道もあるので、ぜひゆっくり皆さんも訪れて下さい。

(記事:イサオ(石原効) トッシー(福島利幸))



実は…こんな仕事です

（株）葬仙 佐々木 尚 会員
（“〇〇” マルマル委員会）

みなさまこんにちは。葬仙の佐々木尚と申します。
お葬式について思うこと、葬儀社の仕事についてご紹介させていただきます。

考えたくない、でもいつかそのときがくる。お葬式にはそんな一面があります。大切な方との最期のお別れについて考えるのは気持ちのいいものではありません。そのため、突然の訃報を受けてはじめてお葬式のことを考える方も少なくありません。「葬儀が終わるまであっという間で、もっといろんなことをしてあげたかった。」ということのないように、前もってしっかりと考え、準備しておくことをおすすめします。



うご提案しています。

また、お葬式後の役所手続・名義変更・相続・遺族年金の申請・法事法要・満中陰・お墓等々、お客様のご心配やお困りごとは何でもご相談承ります。

どんなかたちで送ってあげたいか、最期に呼んでほしい方は誰か、どのくらいの費用を準備しておくべきか、など予め決めておくと、もしものときに慌てふためくことなく、お別れまでの大切な時間を有意義に過ごせます。

葬仙では、事前のご相談にしっかりお応えすべく、スタッフ一同、日々勉強しています。費用や慣習についてきちんと説明するのはもちろんですが、お越し下さるお客様の声を傾聴し、いいお葬式ができるよう

拙者、〇〇が好いてござる！

「読書」

地域ビジョン委員会 本田 繁

拙者は読書が好いてござる。無趣味だから取り敢えず読書と書いておると疑われそうですが、いやいや本当に読書が好きです。読書が趣味と公言するとインパクトに欠けますが読書が好きです。

読書の良いところは、空いた時間などにも気軽に読んで区切りをつけやすいところです。日々忙しくてなかなか自分の時間を作ることが大変だと思いますが、活字を一つずつ目で追っていくことで想像が膨らみ、有意義な時間を過ごせるのです。

ここで皆様に、お勧めの小説を1冊紹介させていただきます。直木賞受賞作家の浅田次郎「壬生義士伝」です。小説のあらすじは、幕末の混乱

期、周囲から守銭奴と呼ばれながらも自らの愚直な生き方を貫こうとした、新選組のある無名隊士の運命を見つめた感動の時代小説です。当会の今年度スローガン「侍魂」。後藤会長より発表があったときは直ぐに「壬生義士伝」が思い浮かびました。この「壬生義士伝」から学び、自分も厳しい環境のなかでも、しっかり現状を見据えて地道に進もうと……。小説からの影響を受けずでしょうか。

皆さんも少しでも時間が空けば読書することをお勧めします。



5月役員会報告

5月役員会が平成27年5月1日(金)米子コンベンションセンターにて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・4月レクリエーション例会開催報告の件
- ・5月例会開催の件
- ・6月例会の件
- ・各上程書の件

※なお、詳細につきましては各委員長までご確認ください。

5月例会のご案内

と き：平成27年5月15日(金) 19:00~21:00

と ころ：米子全日空ホテル 飛鳥の間

内 容：『会議手法を学んで組織を活性化～会議やらいや！2015～』

第1部：ミニセミナー ロバート議事法についてルールを学ぶ

第2部：寸劇による模擬会議

担 当：第40期 “〇〇” マルマル委員会

編集後記

レクリエーション例会、うちは子どもたちから「お父さん行こうよ」と言ってくれます。チラシからも楽しさがにじみ出てたのでしょうか。(こんな親によくできた娘たちだ←親馬鹿)

より楽しんで頂けるハンサム作りに勤しまないといけないなあ、と思いました。(広報委員会 桑本功一)

新入会員

(待委員会)		ます たに つよし 剛 谷	A型
	H27.04 (H26年) 入会 (推薦者) 廣谷(栄) 牧田(継)	ますたにに 社会保険労務士事務所 代表 労務管理・社会保険代行手続・相談業務・年金手続代行 〒683-0812 米子市角盤町3-32 TEL 32-4327 FAX 32-4327 (KT) 090-7509-1998 (EM) masutanit@ybb.ne.jp	S 49.05生

〈コメント〉この度、ご縁があり入会させて頂きました、社会保険労務士の剛谷と申します。
中央会の活動を通じ、地域の発展と自己の成長に努めていきたいと思っております。ご指導よろしくお願い申し上げます。

(待委員会)		かわ かみ ひろあき 河上 定 弘	O型 営業
	H27.04 (H26年) 入会 (推薦者) 山口(尚) 伊坂(明)	かわかみに 有渡辺商事 不動産管理業 〒683-0805 米子市西福原8-1-63 TEL 33-1889 FAX 33-1889 (KT) 090-4014-2081 (EM) srkawa@nifty.com	S 49.07生

〈コメント〉このたび入会させて頂きました有限会社有渡辺商事の河上定弘です。不動産管理会社で営業を担当しております。この地域の青年経済人として自己研鑽を図り、地域に貢献したいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。